

つぎの文しよを讀んで、もんだいに答えましよう。

教室の本だけは、すぐにごちゃごちゃになってしまいます。どうすれば、本を出し入れしやすくなるのでしょうか。

一つ目のくふうは、よく読む本を、手のとどきやすいところにおくことです。毎日つかう本が高いところにあると、出すたびに、せのびをしなければなりません。

二つ目のくふうは、同じなかまの本を、まとめてならべることです。図かんは図かん、絵本は絵本とまとめておけば、読みたい本をすぐに見つけられます。

三つ目のくふうは、本の高さをそろえることです。高い本とひくい本がまじっていると、ひくい本がおくへ入りこんで、見えなくなってしまう。

ならべ方をすこしくふうするだけで、本だなは、ぐんとかいやしくなります。みんなで話し合って、クラスの本だなのきまりを作ってみましょう。

(このもんだいのための書きおろし)

(二) 一つ目のくふうは何ですか。「こと」につづくように、文しようにから二十五字まで書きぬきましょう。

[illegible]

(二) 同じなかまの本をまとめてならべると、どんなよいことがありますか。アウから一つえらびましょう。

ア 本が、高くなる。

イ 読みたい本を、すぐに見つけられる。

ウ 本が、こわれにくくなる。

(三) 高い本とひくい本がまじっていると、どうなりますか。三十字までで書きましよう。

[illegible]

(四) この文しよの書き方として、あうものはどれですか。アゝウから一つえらびましょう。

ア 本だなを作った人の話を、じゅんに書いています。

イ
くふうを一つだけ、くわしく書いています。

ウ はじめにといかけて、くふうを三つ書き、さいごにまとめている。